

(1)事業例

別紙2 浄化槽システムの脱炭素化推進事業に要する経費内訳

※全て金額は税抜きとする

申請する事業種別を選択してチェックを入れること。

事業の種別 (該当する事業に☑を入れる) ※(1)と(2)は同時選択不可	<input checked="" type="checkbox"/>	(1) 30人槽以上の既設合併処理浄化槽に係る最新型の高効率機器への改修事業
	<input type="checkbox"/>	(2) 30人槽以上の既設合併処理浄化槽から先進的省エネ型浄化槽への交換事業
	<input type="checkbox"/>	(3) 上記(1)又は(2)事業と併せて行う再生可能エネルギー設備の導入事業

所要経費	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他 資金に寄付金等を使用する場合。無ければ「0」と記入	(3) 差引額 (1)－(2)	(4) 補助対象経費 支出予定額 下表の合計額を記入
	2,510,000 円	0 円	2,510,000 円	2,510,000 円
削減効果計算表の費用対効果が適合の場合(4)の額を記入	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7)×1/2の1,000円未満を切り捨てた額
	2,510,000 円	2,510,000 円	2,510,000 円	1,255,000 円

補助対象経費支出予定額内訳		
経費区分・費目	金額(円)	積算内訳
(記入例)		
工事費	2,510,000 円	総計
本工事費	2,510,000 円	計
材料費	1,870,000 円	計
	1,800,000 円	ばっ気ブロウ 中島 KI-100 2台 × 単価 900,000
	10,000 円	タイマー エンブリオル EMB100 1台 × 単価 10,000
	60,000 円	放流ポンプ MD FHC-6F 2台 × 単価 30,000
労務費	320,000 円	計
	150,000 円	「見積書」>「ブロウ取替工事費」
	60,000 円	「見積書」>「タイマー設置工事費」
	90,000 円	「見積書」>「ポンプ取替工事費」
	20,000 円	「見積書」>「試運転調整費」
直接経費	80,000 円	「見積書」>「ユニック車使用料」
共通仮設費	100,000 円	「見積書」>「安全養生費・交通誘導費」
現場管理費	100,000 円	「見積書」>「諸経費」
一般管理費	40,000 円	「見積書」>「法定福利費」
撤去資機材の処分費、汚泥処分費、外構工事費や書類の作成費用などは、直接事業に関わりがないものとして補助対象外となるので注意のこと。		
合計	2,510,000 円	

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)					
機器の種別	メーカー	型式	数量	単価	購入予定時期
ばっ気ブロウ	中島	KI-100	2	900,000 円	令和6年12月上旬予定
単価50万円以上の機器を購入する場合に記入する。					

注1 本内訳に証憑書類となる(2社以上の相見積もり又は一般競争入札を行ったことがわかる)見積書又は計算書等を添付する。

注2 記入欄が少ない場合は、本様式を複写して使用する。